

2010年度

課題別研修
プログラム概要

JICA LIBRARY



1200197 [0]

独立行政法人国際協力機構
(J I C A)

国内
J R

2010 年度

課題別研修

プログラム概要

独立行政法人 国際協力機構

(J I C A)



1200197 [0]

はじめに：JICA の改革と課題別研修プログラム

JICA は、2003 年の独立行政法人化以来、現場重視、人間の安全保障、業務の効率化・迅速化を 3 本の柱として改革を進めてきました。その後、2005 年には、国内事業について JICA 改革プラン第 2 弾を発表し、その中心となる課題別研修事業について、「途上国のニーズに的確に即応できるように再編する」ことを目指して、改革・改善に努めています。

日本国内で実施される技術協力

JICA の課題別研修は、日本国内で実施される技術協力で世界的にも類例を見ないプログラムです。伝統的な農業技術から最先端の科学技術まで、また、病院管理のノウハウから地方自治制度まで、非常に多岐にわたる内容の 500 件を超える案件が、途上国のニーズの観点から絶えず見直しを行いながら実施されています。これらの案件は、第一線の実務者から日本を代表する有識者など、文字通り日本社会全体に支えられています。日本の経験の中に自国の問題解決に役立つ技術や知識を見出そうとする途上国の人々にとり、最良の「場」を提供するものと考えます。

途上国の現場で実施される一般の技術協力とは異なり、日本国内で実施されていることから、途上国の現場で具体的な成果に結びつくよう、様々な工夫を取り入れています。例えば、日本での研修に先立って現地で事前の活動を行うもの、日本での研修の後にフォローアップを行うもの、第三国で補完的な研修を行うものなど、これまでの研修の枠を越えた案件が生まれています。これらの取り組みについての詳細は本冊子の本文をご覧ください。

日本の開発経験

日本は、非西欧国家として、他に先駆けて近代化・工業化への道を切り開いた国ですが、その過程で、欧米諸国からの知識・技術を取り入れ (adopt) 、国内の実情に合うように応用 (adapt) するという取り組みを、国を挙げて進めてきました。今日の日本社会がよって立つ知識や技術は、こうした無数の試行錯誤の努力の積み重ねの中から生み出されてきたものです。日本の経験は、日本と同じように自国の状況に適した制度や技術の創造に取り組んでおられる多くの国々に具体的に参考にしていただけるのではないかと考えます。

こうした日本の経験には、「百聞は一見にしかず」と言われるように、日本に来ていただいて、実際の現場を見、苦労を話し合い、経験を体験していただくことで、初めて理解いただけるものも少なくありません。途上国で様々な問題解決に取り組む多くの人々が、その長所と短所を含めて日本の経験を参考とするうえで、JICA の課題別研修が役立つことを願って止みません。

独立行政法人 国際協力機構
国内事業部 部長 早瀬 隆昌

THE HISTORY OF THE UNITED STATES

The history of the United States is a story of growth and change. From the first European settlers to the present day, the nation has evolved through various stages of development. The early years were marked by exploration and the establishment of colonies. The American Revolution led to the birth of a new nation, and the subsequent years saw the expansion of territory and the growth of industry.

The American Civil War was a pivotal moment in the nation's history, as it resolved the issue of slavery and preserved the Union. The Reconstruction era followed, a period of significant social and political change. The late 19th and early 20th centuries saw the rise of industrialization and the emergence of a new middle class.

The 20th century was a time of global conflict and domestic transformation. The United States emerged as a superpower, playing a leading role in the world. The civil rights movement of the 1950s and 1960s led to significant social progress. The Vietnam War and the Watergate scandal were major events that shaped the nation's identity.

The late 20th and early 21st centuries have seen continued growth and change. The end of the Cold War led to a new era of international relations. The September 11 attacks and the subsequent wars in Iraq and Afghanistan were major events that tested the nation's resolve. The 2008 financial crisis and the 2016 election were also significant events that shaped the current landscape.

The future of the United States is uncertain, but the nation's history suggests a path of continued growth and change. The challenges ahead are many, but the American spirit of innovation and resilience offers hope for a bright future. The history of the United States is a testament to the power of the human spirit and the potential of a free society.

2010 年度プログラム概要

巻頭目次

I. 課題別研修の概要と戦略的活用	1
II. プログラム概要表	19
プログラムリスト目次	20
プログラムリスト	21
課題別研修中期編成指針 分野課題別マトリクス目次	37
課題別研修中期編成指針 分野課題別マトリクス	38
プログラム概要表の各項目について	109
プログラム概要表	111
1. 教育	111
2. 保健医療	135
3. 水資源・防災	173
4. ガバナンス	197
5. 平和構築	219
6. 社会保障	221
7. 運輸交通	231
8. 情報通信技術	247
9. 資源・エネルギー	261
10. 経済政策	273
11. 民間セクター開発	279
12. 農業開発・農村開発	305
13. 自然環境保全	341
14. 水産	353
15. ジェンダーと開発	359
16. 都市開発・地域開発	363
17. 環境管理	379
18. 援助アプローチ	409
19. 評価	413
20. 南南協力	415
III. 五十音順索引（案件名称）	417

圖書及電子資源查詢

圖書查詢

1. 查詢圖書目錄

2. 查詢圖書詳情

3. 查詢圖書索書號

4. 查詢圖書索書號

5. 查詢圖書索書號

6. 查詢圖書索書號

7. 查詢圖書索書號

8. 查詢圖書索書號

9. 查詢圖書索書號

10. 查詢圖書索書號

11. 查詢圖書索書號

12. 查詢圖書索書號

13. 查詢圖書索書號

14. 查詢圖書索書號

15. 查詢圖書索書號

16. 查詢圖書索書號

17. 查詢圖書索書號

18. 查詢圖書索書號

19. 查詢圖書索書號

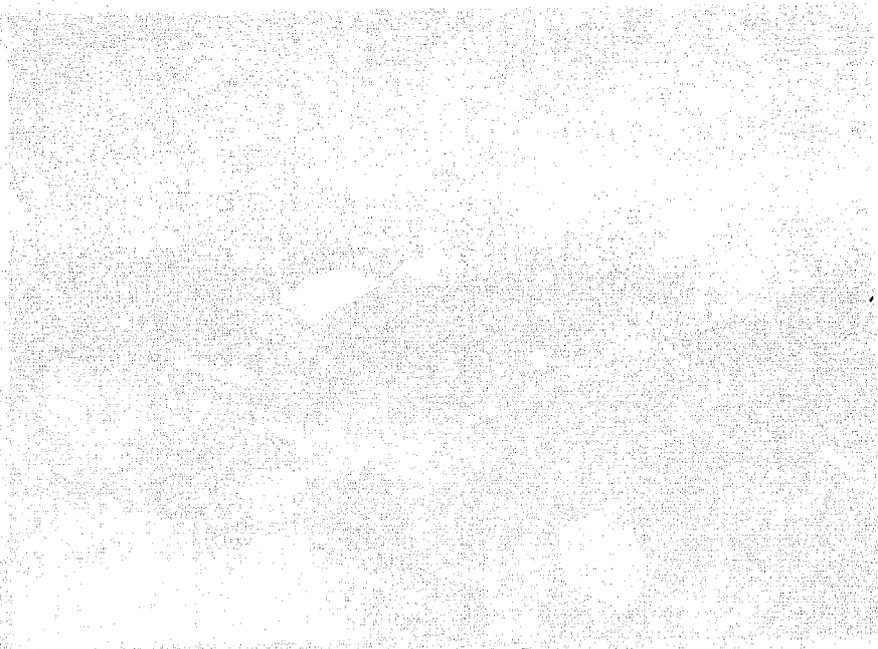
20. 查詢圖書索書號

I. 課題別研修の概要と戦略的活用



(写真提供: 今村健志朗氏)

THE HISTORY OF THE UNITED STATES

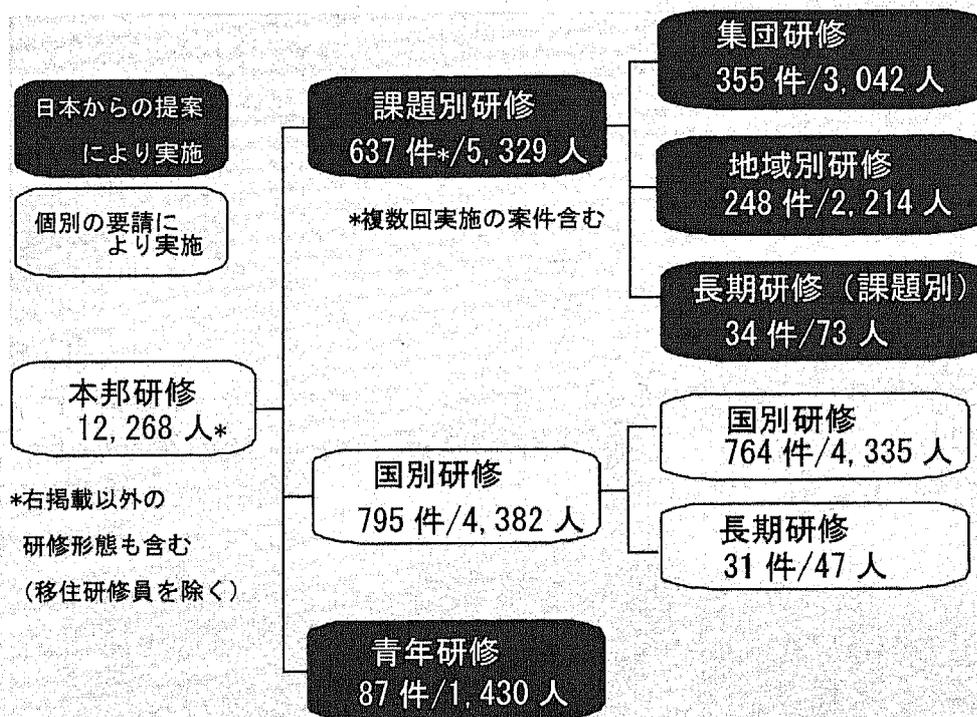


1. 課題別研修とは

JICAの研修員受入事業は、途上国の個別の具体的な要請に基づき実施する「国別研修」と、日本側から途上国側に提案し、要請を得て実施する「課題別研修」に大別されます。このうち「課題別研修」は、数多くの国内関係団体との緊密な連携関係の下で500件を超える案件が幅広い分野で実施されており、他の援助国・国際機関にはあまり類例のない日本のODAの特徴を形作っています。

2008年度から、従来、独立した事業として運営されてきた長期研修（期間が1年以上の研修で、留学を主とする）が課題別研修に編入されました。2010年度は課題別研修全体で548件の実施が予定されています。

■図1：研修員受け入れ事業の形態と実績（21年度）



注 数値は暫定値